証券コード：6798

株主通信

第103期 中間期
2024年4月1日～2024年9月30日

CREATIVE CONNECTIVITY
—Challenge, Creativity, Solutions

株主の皆さまへ



あらゆるニーズを実現する“ものづくり力”で、次の100年に貢献いたします

株主の皆さまには、平素より格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、2025年4月に創立100周年を迎えます。次の100年の飛躍に向け2035年長期ビジョン「あらゆるニーズを実現する“ものづくり力”で、次の100年に貢献する」を策定し、その実現に向けた最初のマイルストーンとして、2025年3月期～2027年3月期を対象期間とする中期経営計画「SMK Next100」の取り組みを開始しました。サステナビリティを前提として売上・利益の持続的成長の実現、事業を支える経営基盤の強化、資本・財務戦略の高度化により、企業価値の最大化を進めてまいります。

具体的な取り組みとして、売上・利益の持続的成長の実現に向け、既存のCS事業、SCI事業の強化とイノベーションセンターによる新規事業の創出に取り組んでいます。車載・E-Bike、再生可能エネルギー、ウェアラブル、家電・住設、ヘルスケアを注力市場とし、既存製品の拡大と高付加価値製品の創出を目指しています。イノベーションセンターでは自社開発の従来型ビジネスに加え、社外との協業によるオープンイノベーションにも積極的に取り組み、新たな製品・サービスを開発しています。

また、経営基盤の強化として営業力の強化、売上・利益責任の一本化などを狙い、2024年4月より営業本部と事業部、イノベーションセンターを再編・統合しました。人的資本の強化では「働きがいのある職場づくり」と「自律型社員の育成」を目標とした取り組みも進めております。資本・財務戦略の高度化では、新たにROICを経営指標として導入し、資本の効率化を図っていきます。

2024年11月

代表取締役社長
池田靖光

業績の概要

2025年3月期第2四半期 決算説明会資料

詳細はホームページをご覧ください。

当社グループにおきましては、情報通信市場では、タブレット用コネクタが好調で前年を上回りました。家電市場では、アミューズメント用コネクタは低調でしたが、サニタリー・エアコン用リモコンなどが好調で前年を上回りました。産機市場では再生エネルギー用コネクタが好調で前年を上回りました。一方、車載市場ではコネクタは拡大しましたが、操作ユニット、カメラモジュールなどが減少し前年を下回りました。

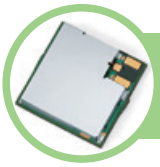
セグメント別売上高



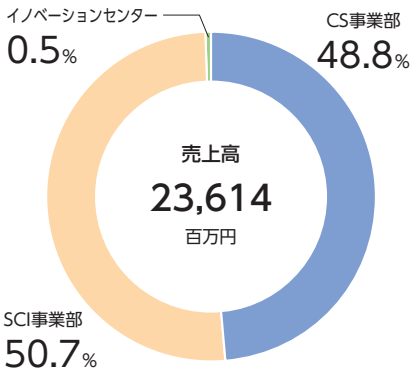
CS事業部　売上高115億19百万円　前年同期比＋11.3%



SCI事業部　売上高119億82百万円　前年同期比▲4.3%

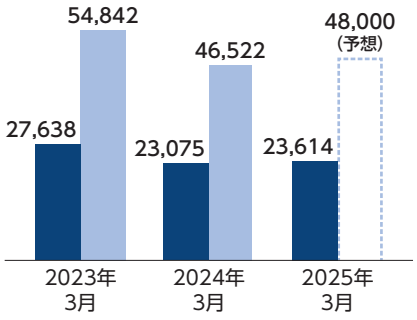


イノベーションセンター　売上高1億13百万円　前年同期比▲46.1%

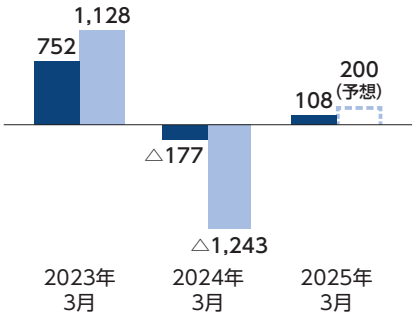


財務ハイライト

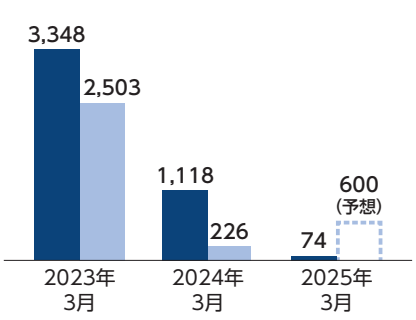
売上高 (単位：百万円)



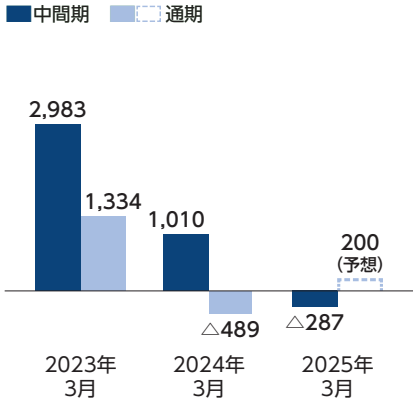
営業利益 (単位：百万円)



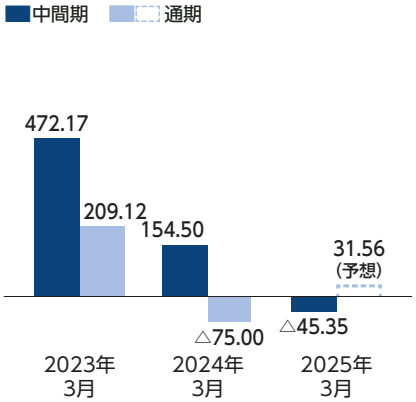
経常利益 (単位：百万円)



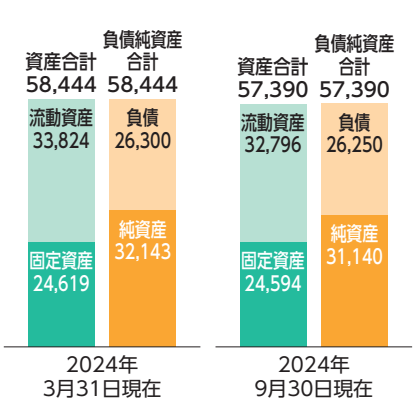
親会社株主に帰属する中間（当期）純利益 (単位：百万円)



1株あたり中間（当期）純利益 (単位：円)



連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)

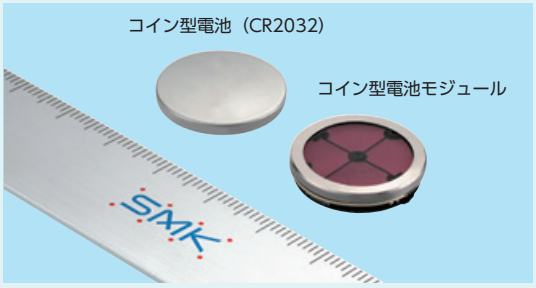


Topics　社会課題解決を実現する製品・サービス

SMKでは、ビジネスモデルの多様化へ対応するとともに、オープンイノベーションを通じた新規事業の創出を進めており、これらを通じて社会課題の解決を目指しています。また、グリーントランスフォーメーションなどの社会変革に貢献する製品・サービスの開発および提供による売上・利益の創出を図ってまいります。

持続可能なエネルギー社会の実現

業界初* 交換不要のCR2032コイン型電池モジュール



＊当社調べ

環境負荷を最小限に抑えつつ、持続可能なエネルギー社会の実現を目指す取り組みの一環として、コイン型電池CR2032に置き換わる業界初のエナジーハーベスティング（環境発電）モジュールを開発しました。

詳細はこちら

車の置き去りや交通事故の防止

最新センサー技術で子供を守る「子供置き去り検知センサー」「生体情報検知センサー」

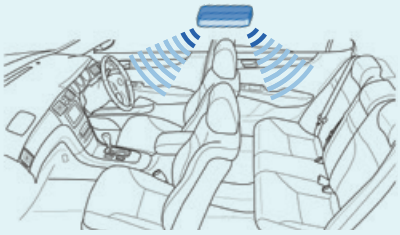
昨今、世界各国において車室内の安全対策が強化される中、SMKはカナダのPontosense社と協力し「子供置き去り検知センサー」と「生体情報検知センサー」の開発を進めています。

本製品は2024年1月9日～12日までラスベガスで開催された展示会「CES®2024」でも展示され、来場者の高い関心を集めました。

2026年に「子供置き去り検知センサー」、2027年に「生体情報検知センサー」の量産化を目指し、車室空間の安心・安全向上に寄与してまいります。

詳細はこちら

※ CES®は、Consumer Technology Associationの登録商標です。



製品イメージ



「CES®2024」の様子

あらゆる人々の健康増進

早期発見のカギ　音声による認知症などの疾患分析AI技術

高齢化に伴い、国内の認知症患者は増加しています。認知症は完治が難しい疾患ですが、軽度認知障害（MCI）の段階で早期に対策をとれば、認知機能の改善や発症遅延の可能性があるとの報告もあります。SMKは米国のCanary Speech社と共同で、日本語音声による認知症診断支援アルゴリズムを開発中です。

詳細はこちら



画面イメージ

会社概要 (2024年9月30日現在)

商号	SMK株式会社
英文社名	SMK Corporation
創立	1925年4月3日
設立	1929年1月15日
資本金	7,996,828,021円
従業員数	連結4,070名
本社	〒142-8511 東京都品川区戸越6-5-5 TEL (03) 3785-1111 (代表)

役員一覧 (2024年9月30日現在)

取締役および監査役	氏名
代表取締役社長	池田　靖光
代表取締役副社長	池尾　政信
取締役常務執行役員	ポール・エヴァンス
取締役常務執行役員	原　哲雄
取締役（社外）	中村　利雄
取締役（社外）	石川　薫
常勤監査役	大垣　幸平
監査役（社外）	中島　成
監査役（社外）	西村　文男

執行役員	氏名
常務執行役員	宇佐美　博
執行役員	増渕　充行
執行役員	秦　史和
執行役員	大坪　実喜男
執行役員	菅野　英雄
執行役員	伊東　崇
執行役員	北平　至

株式情報 (2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	19,596,127株
発行済株式の総数	7,200,000株
株主数	6,033名

大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	640	10.08
SMK協力業者持株会	520	8.19
公益財団法人昭和池田記念財団	359	5.66
大日本印刷株式会社	320	5.04
日本生命保険相互会社	307	4.85
SMK社員持株会	276	4.35
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	173	2.73
株式会社みずほ銀行	167	2.64
池田　彰孝	140	2.20
明治安田生命保険相互会社	137	2.17

(注) 当社は自己株式847千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しており、また、上記持株比率は自己株式を控除して計算しております。なお、自己株式には役員株式給付信託が保有する当社株式40千株を含めております。

SMK株式会社

株式に関するお問合せ先・お手続き先

1. **配当金のお振込、単元未満株式の買取・買増請求、特別口座から証券会社の口座へのお振替**、住所変更等のお手続き窓口は次のとおりです。

証券会社に口座を開設されている株主様	口座を開設された証券会社にご照会ください。
証券会社に口座を開設されていない（特別口座に記録されている）株主様	三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部 (0120-232-711 通話料無料) にご照会ください。

買取・買増請求制度の例（170株ご所有の場合）

170株 ＝ 100株（単元株式） ＋ 70株（単元未満株式）

- 70株買取請求（当社が買取）→ 単元株数 100株に
- 30株買増請求 → 単元株数 200株に

2. 配当金をお受け取りになっていない株主様は、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部の電話照会先にご連絡ください。

SMK 統合報告書

最新の統合報告書をホームページに掲載しております。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報を掲載しております。

アンケートご協力のお願い



本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

FSC ミックス 紙 | 責任ある森林管理を支えています FSC® C013080

VEGETABLE OIL INK